

## 医療・健康・福祉 産業分野 海外地域間交流事業

この事業では、平成18年度から海外のバイオフィォラム等に参加し、そのような機会を通し、アメリカ等海外研究者と県内産学官の研究者との研究促進を深め、海外研究者とのネットワークを構築し、各国の幅広い研究分野の外国人研究者による研究開発プロジェクトの促進、研究成果を生かした事業活動の展開により新たな産業創出につなげていくこと、併せて国際的にメディカルバレーの浸透を図ることを進めてきました。

## 2008カナダ・米国視察



● Hollyhock

平成20年6月13日(金)～21日(土)にかけて、大学、企業、県の産学官からなるメンバーにて、カナダ、米国を視察しました。

カナダでは、コルテス島にあり、美しい自然の中にあるリトリート施設「Hollyhock(ハリホック)」を視察しました。この施設では著名な講師を含むワークショップ、各種ポディーワークを受けることができます。また、世界で最も影響力のある100人にも選ばれたことがある、統合医療の世界的権威Dr.Andrew Weil氏の別荘を訪問しました。Weil氏はアリゾナ大学の内科教授であり、西洋医学を修めながらも、代替医療を積極的に取り込む「統合医療」を過去30年に渡って提唱し続けています。氏からは、メディカル研究会である「統合医療研究会」へメッセージをいただきました。また、氏の紹介によりアリゾナ大学内にある統合医療研究所「Health Sciences Center」を訪問し、Victoria Maizes氏、Mark Folger氏と対談しました。

米国では、全米バイオ産業協会主催によるBIO2008サンディエゴ(出展者60か国、出展企業1900社〔※90%は中小企業〕)を視察し、情報収集の他にメディカルバレーのPRも行いました。

### ● スケジュール

6/14	サンフランシスコ空港経由バンクーバー着
6/15	コルテス島(※ Hollyhock / Dr.Andrew Weil 氏宅訪問)
6/16	コルテス島(※ Hollyhock)
6/17	サンディエゴ(※ BIO2008視察)
6/18	ツーソン(※ アリゾナ州立大学訪問)
6/20	サンフランシスコ空港発



● Dr.Andrew Weil 氏宅訪問



● Health Sciences Center



● BIO2008

## 編集後記

みえメディカル研究会総会の能勢先生、メディカルバレーフォーラムの黒木先生の講演を聞き、病気の予防・健康づくりに運動を継続して行うことが大事だと改めて認識した方、また、ビジネスとして成り立つのではないかと感じた方も多いのではないのでしょうか。

私が「1日1万歩以上歩こう」と意識し始めたのが今からちょうど3年ほど前。歩数計を引っ張り出してきて実際自分はどのくらい歩いているのか確認しました。車社会での生活で1日1万歩が何と大変なことかと実感しました。

それからは通勤時に歩く、エレベーターやエスカレーターを使わず階段を利用することで1万歩がクリアできるようになりました。ちなみにゴルフに行くと1万5千歩くらい歩きます(上手な人はもっと少ないかも)。習慣付けるために、歩数計は肌身離さず、毎朝食前に体重と体脂肪率を測定し、前日の歩数を記録します。体重は前日の食事や運動の状況で1kgくらいは常に変動しますが、1年間で3kgくらい減らし、腹囲も少しすっきりしました。これで検診結果がよくなればいいのですが...

あなたも考えてみませんか。自身の健康維持とビジネスチャンス。(gao)

### 発行

三重県健康福祉部薬務食品室 メディカルバレー推進グループ  
〒514-8570 三重県津市広明町13番地  
TEL:059-224-2331 FAX:059-224-2344  
e-mail:yakumus@pref.mie.jp

メディカルバレープロジェクトホームページ  
<http://www.mvp.pref.mie.jp/>

みえ福祉用具産業支援ネットワークホームページ  
<http://www.fynet.pref.mie.jp/>

医薬品安全情報提供システムホームページ  
<http://www.medsafe.pref.mie.jp/>

三重県薬事工業情報提供システム(PHIS)ホームページ  
<http://www.piis.pref.mie.jp/>

# メディカルバレー通信

MEDICAL VALLEY PRESS

2008秋号  
VOL.13



ごあいさつ

四日市大学学長  
宗村南男

世界を見つめ地域を考える  
四日市大学とメディカルバレー

四日市大学は、創立20周年を迎えることができました。これまでをたどってみますと、1988年四日市市との公私協力型方式の大学として、経済学部(経済学科・経営学科)の単科大学として開学致し、以来「人間たれ」の建学精神のもと「世界を見つめ地域を考える」をキャッチフレーズに、グローバルな感覚をもち21世紀の地域社会をリードする人材の育成に努めてまいりました。

その後、1997年環境情報学部開設、2001年総合政策学部開設、2004年環境情報学部メディアコミュニケーション学科開設、2005年経済学部現代ビジネス学科開設、2006年環境情報学部社会環境デザイン学科開設等、学部・学科の増設を進めてきました。その間学科の統廃合を進めつつも、地域に根ざした大学として順調な発展を遂げながら、現在では経済学部、環境情報学部、総合政策学部の3学部を擁する三重県下有数の私立大学に発展することができました。

さて、全国各地の大学を取り巻く環境は、ますます進む少子化の煽りをうけながら一段と厳しいものになってきております。そのため、大学等の各高等教育機関では改革への取り組みが盛んに行われています。我々は時代や社会、或いは地域のニーズにあわせて、適応した教育システムを推進していくことが急務であると考えます。本学が目指す大学の在り方のひとつは「地域に開かれた大学」です。地域の人々とともに学びを共有できる「知の拠点」として門戸を広げることこそ、本学が地域社会での存在価値を示せる道だと確信しております。

みえメディカルバレーは、三重県における医療・健康・福祉産業を戦略的に振興し、質の高い製品・サービスを提供すると共に、地域経済の発展に資することを目的とされています。本学としては、経済面・環境面・行政面において、みえメディカルバレーのメンバーの一員として大いに貢献できればと願っております。それを通じて「世界を見つめ地域を考える四日市大学」として存在感を高めていきたいと考えております。

## リーディング産業展 みえ2008

「リーディング産業展みえ2008」では、三重の未来をリードする産業190展が勢ぞろいします。メディカルバレープロジェクトからはブース出展のほか、「メディカルバレーセミナー」と題したセミナーを開催します。平成20年度産業功労者表彰式とみえ研究交流フォーラム2008も同時開催します。各種イベント・コーナーの日程や詳細は下記URLをご覧ください。

11.7.fri 10:00 開場  
11.8.sat

四日市ドームにて  
(近鉄JR四日市駅からシャトルバス運行)

### ● 展示

### ● 企業プレゼンテーション

### ● 体験コーナー

### ● イベント

### ● 商談会

### ● 各種セミナー メディカルバレーセミナー

「健康食品の安全性確保への取組」  
厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課  
新開発食品保健対策室長 玉川 淳 氏

右記URL内「セミナー」のページからお申し込みいただくか、所属、氏名、連絡先を記入の上、下記まで先までFAXまたはE-mailでお申し込みください。

11月7日(金) 10:30-12:00  
定員100名

三重県健康福祉部薬務食品室メディカルバレー推進グループ  
FAX: 059-224-2344  
E-mail: nakayn04@pref.mie.jp

### ● お問い合わせ先

リーディング産業展みえ2008実行委員会事務局(三重県農水商工部商工企画室内)

TEL: 059-224-2512  
FAX: 059-224-2521

URL: <http://www.pref.mie.jp/D1NOURIN/leading/>

リーディング産業展 検索